

社会>公民的分野>(1) 私たちと現代社会>イ 現代社会をとらえる見方や考え方

公園のルール作り〔柏原市立柏原中学校〕

⇒参考：指導路案
ワークシート

ねらい（つきたい力）

- 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、「対立と合意」「効率と公正」などについて理解する。
- 社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義及び個人の責任などを考える。

取組みの概要

① 公園を見てみよう

- ・教科書の資料にある公園と、自分たちが普段利用する公園を比較する。
→目的や利用者の違いで公園の形態や設備等が異なることやルールが必要なことに気付かせたい。

② 理想の公園のイメージやルールを考えよう

- ・各班で、公園のイメージ図や利用者のルールをまとめ、フリップを作成し、説明する。
→設備や整備など、生徒の意見が出やすいように助言を加え、どのようなルールが必要なのかを考えさせたい。

③ みんなが楽しめる公園の在り方考えよう

- ・学級3グループに分かれ、共に利用できる公園の在り方を考え、フリップを作成し、説明する。
- ・立場が異なる人たちが利用できるように工夫が施されているのか、公園を利用する人のためだけのルールでよいのかどうか等の視点を持ち、話し合う。
→「合意」を得る努力をめざした話し合いができるようにさせたい。

工夫など

- 単元のまとめとして位置付け、学習したことをもとに生徒が考えやすい「公園のルール作り」を行う中で、「みんなが楽しめる」ルールを話し合うことの意義に気付かせる。
- 少人数（班）での話し合いをもとにして、さらにグループを変えて話し合わせることで、自分たちの意見を練り上げ、多面的に考察させる。

授業を終えて

- 生徒たちは、他のグループとの交流を行うことで、利用者の目的や環境などそれぞれの立場によって意見が異なること、そして、異なる意見を大切にする為にルールが必要であることを、体験的な学びを通して気づき、思考を深めていくことができたと思う。